

4-1 『おいしいぼうし』★

シゲタ サヤカ

作/絵

教育画劇

2013年

ある日おじいさんとおばあさんの家の前に、こげ茶でまるいものがありました。ふたりはそれを食べてしまいましたが、プリンがたずねてきて…二人が食べたのは何かな？

(松本 幸恵)



5-3 『オオカミのはつこい』

きむら ゆういち

作

田島 征三

絵

偕成社

2015年

もり なか ある 森の中を歩いていてオオカミが、すてきなぬすのオオカミに会い一目惚れしてしまいました。さて、この初恋の行方はどうなるでしょうか。

(下田 穂子)



4-2 『ぐりとぐらのおきやくさま』★

なかがわ りえこ

作

やまわき ゆりこ

絵

福音館書店

1966年

もり あそ 森で遊んでいたぐりとぐらは雪の上に大きな足あとを見つめます。あとをつけていくと、なんと自分たちの家に！さあ、いったい誰が来たのかな？

(三澤 文美佳)



6-1 『きつねにようぼう』

長谷川 摂子

作

片山 健

絵

福音館書店

1997年

ある雨の日に出会った男女が結婚し、男の子が産まれる。しかし、母親はキツネが化けていた事を知られてしまい、出て行ってしまふ。夫と息子を想う心は本物で、2人のために一人て田植えをし、豊作をもたらした。

(増田 真弓)



4-3 『じごくのラーメンや』

荻田 澄子

作

西村 繁男

絵

教育画劇

2010年

じごく やができました。名物は激からラーメン。これを残さず食べれば、天国へ行けます。天国からお客様が来て挑戦しますが、どうなったかな？

(新美 智子)



6-2 『光の旅 かげの旅』

アン・ジョナス

作/絵

内海 まお

訳

評論社

1983年

ひかり あさ よる しろくろ え し よ 光とかげ。朝と夜。白黒の絵と詩を読んでいるような静かな世界観。何度も何度も読みたくなる不思議な絵本です。

(工藤 ひとみ)



5-1 『モチモチの木』★

斎藤 隆介

作

滝平 二郎

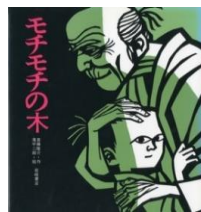
絵

岩崎書店

1971年

モチモチの木の役割は？ 弱虫な豆太を見守るじさま、お互いのやさしさ思いやりが伝わります。

(伊藤 桂子)



6-3 『クリスマスイヴの木』

デリア・ハディ

作

エミリー・サットン

絵

三原 泉

訳

BL出版

2015年

しっかりと覚えてもらえなかったモミの木が一人の男の子と出会ってしあわせになり、ひとりとあつ 人々が集まる木になっていく物語です。

(森田 真紀)



5-2 『じごくのさたも うでしだい』

もとした いづみ

作

竹内 通雅

絵

ひかりのくに

2014年

むかし むら さん 赤ん坊が同じ日に生まれたそう。3人は、うどんや、生花の先生、医者になって、また偶然に死んでしまった。ひよんなことに地獄に行くことに。

(堀越 安代)

ほか 他 せかいでいちばんつよい国(光村教育図書)



次回の読み聞かせは 1月15日(水)8:25~8:40です。

お楽しみに！

なお、保護者のみなさんも見学ができます。

ぱたぼん通信が本選びの参考になればうれしいです！



学校図書館にある本はタイトル横に★があります

ぱたぼん通信 2019年12月号